



ガエターノ・ドニゼッティ

# ドン・パスクワレ

Don Pasquale / Gaetano Donizetti

2024年2月4日(日)～2月10日(土)

会場:新国立劇場 オペラパレス 2023年12月9日(土) 10:00～ 前売開始



『ドン・パスクワレ』2019年公演より

## オペラの楽しみいっぱい！名歌手の饗宴『ドン・パスクワレ』

ベルカント・オペラの巨匠ドニゼッティの傑作オペラ。優美な音楽、華やかな声の饗宴にのせ、大金持ちの老ドン・パスクワレが甥っ子エルネストの恋人ノリーナと医師のマラテストに一泡ふかされるドタバタ劇が繰り広げられます。ヴィツィオーリ演出の名舞台は、“魔法の箱”のような精巧な舞台美術が舞台ファンの心をくすぐり、美しくこだわり抜いた衣裳も魅力の決定版。イタリア伝統の叡智が凝縮され、登場人物が実に生き活きと動く、小気味よい喜劇をどうぞ！

## 世界随一のバス歌手ペルトウージ、待望の登場！喜劇は役者が揃ってこそ！

題名役には、世界随一の人気バス歌手ミケーレ・ペルトウージがついに新国立劇場デビュー。名歌手の艶やかな声で、得意役とする名キャラクター、ドン・パスクワレを演じます。甘美な美声で世界を席卷するテノール、フランシスコ・ガテル、国際舞台に躍り出た新星ラヴィニア・ビーニ、そして日本随一のベルカントの名手・上江隼人と圧倒的豪華歌手陣が揃いました。

快演が続く新国立劇場のベルカント・オペラ、今回も極上の『ドン・パスクワレ』でオペラの楽しみいっぱいの舞台をお届けします。

<資料のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail: takanashi\_y1307@nntt.jac.go.jp

## オペラの華、ベルカント・オペラの傑作喜劇『ドン・パスクワレ』を“魔法の箱”のような舞台で



ベルカント(※「美しい声」を意味するイタリア語)を代表する作曲家ドニゼッティ晩年のオペラ・ブッファ『ドン・パスクワレ』が登場。大金持ちの老人ドン・パスクワレが、甥っ子エルネストと恋人ノリーナ、医師マラテスタに一泡ふかされ、若い二人の恋路が成就するドタバタ劇が、ドニゼッティならではの魅力的で親しみやすい曲に載せて繰り広げられます。ノリーナの夢見るようなカヴァティーナ「あの騎士の眼差しは」、エルネストの痛切なアリア「遥かなる土地を求めて」、怒り狂って復讐を誓うパスクワレとマラテスタの超絶な早口の二重唱「静かに、今すぐに」など、楽しいナンバーが連続。パスクワレ家の使用人たちの楽しい合唱シーンも華を添え、ピリッとした切れ味で場を展開させます。

ヴィツィオーリ演出のプロダクションは、94年にミラノ・スカラ座で初演されて以来、イタリアをはじめ世界各地で上演されている決定版。オーソドックスな中に繊細な心理表現や効果的なシーン展開といった現代的な感性が光る、イタリア伝統の叡智が結集された秀逸な舞台です。古都ローマを望む“魔法の箱”(※ヴィツィオーリ談)のような精巧で暗示に満ちた舞台が次々に展開し、その中で堅物ドン・パスクワレ、開放的なノリーナ、甘えた若者エルネストに策略しマラテスタらの登場人物が生き生きと動くさまは小気味よいほどです。

優美な音楽、声の美しさや歌手の技巧を楽しめるベルカント・オペラは、何といたってもオペラの華。オペラハウスには欠かせないレパートリーとして、新国立劇場を彩ります。



## オペラファンならば見逃せない、ベルカントのスター歌手の至芸に注目！



題名役ドン・パスクワレには世界随一の人気バス歌手ミケーレ・ペルトウージが待望の新国立劇場デビュー。グラミー賞、アッピアーティ賞、グラモフォン賞など数々の賞に輝く名歌手にして、世界の主要歌劇場で引っ張りだこの圧倒的人气バス歌手が、いよいよオペラパレスへ登場します。ドン・パスクワレ役は今シーズン、ウィーン国立歌劇場、ハンブルク歌劇場、パレルモ・マッシモ劇場などで歌っている得意役。柄にもなく、そして年甲斐もなく恋に狂ってしまうパスクワレが、艶やかな美声と磨き抜かれた演技で演じられます。

パスクワレの甥エルネストには、19年新国立劇場『ドン・ジョヴァンニ』のドン・オッターヴィオで瞬く間に観客の心を掴んだ美声のテノール、フアン・フランシスコ・

ガテルが待望のカムバック。ベルカント・テノールのスターとしてイタリアをはじめとする欧米主要劇場を飛び回るガテルの円熟にも注目です。

エルネストの恋人で“ノリーナ台風”を巻き起こす美貌の未亡人ノリーナには、ヴェローナ野外音楽祭、ザルツブルク音楽祭など国際シーンに躍り出した新鋭ソプラノ、ラヴィニア・ビーニが登場。この喜劇を仕掛ける狂言回しのマラテスタには、圧倒的技量の持ち主で、日本の誇るベルカント歌手、上江隼人が出演。ベルカント・オペラを特に得意とする指揮者レナート・バルサドンナのドライブで繰り出される、豪華歌手陣の至芸合戦と丁々発止の掛け合いにご期待ください。

近年快演続きと大評判の新国立劇場のベルカント・オペラ。万全の布陣の決定版『ドン・パスクワレ』をどうぞお楽しみに！



## ＜「ドン・パスクワレ」あらすじ＞

大金持ちの老人ドン・パスクワレは、跡継ぎである甥のエルネストに縁談を断わられたため、自分が結婚して子供を作り財産を譲ると宣言する。エルネストは若い未亡人ノリーナと愛し合っているのだ。医者でエルネストの友人マラテスタは、若い二人のために一計を案じる。自分の妹と偽り、ノリーナをパスクワレに紹介。清純な娘を演じるノリーナにパスクワレはまんまと一目惚れし、結婚契約書に署名するが、その途端ノリーナはわがままで贅沢三昧の悪妻に豹変。パスクワレは困り果ててしまい……。



## <主要キャスト・スタッフプロフィール>

### 【指揮】レナート・バルサドンナ

Renato BALSADONNA

ヴェネツィア出身。1997年にアントニオ・パッパーノからモネ劇場合唱指揮者に招かれた後パッパーノと共に英国ロイヤルオペラへ参加、2004年～16年には同劇場合唱指揮者を務め、同劇場で『二人のフォスカリ』『ミノタウロス』『ナブッコ』などを指揮。これまでにトリエステ・ヴェルディ劇場『ラ・ボエーム』、ニース・オペラ『ノルマ』、英国ロイヤルオペラ『蝶々夫人』、マリンスキー劇場『ナブッコ』『ルクレツィア・ボルジア』、シンシナティ・オペラ『椿姫』、フェニーチェ歌劇場『蝶々夫人』、セビリア・マエストランサ劇場『ルチア』、ヴェローナ・フィラルモニコ劇場『ドン・ジョヴァンニ』、トリノ王立歌劇場『夢遊病の女』、フランクフルト歌劇場『ドン・カルロ』『ルチア』などを指揮。オーケストラでは、BBCコンサート・オーケストラ、オランダ放送合唱団、サンタ・チェチーリア合唱団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、リトアニア国立交響楽団、オペラ・ノース管弦楽団などを指揮している。最近の公演に、英国ロイヤルオペラ『椿姫』、オペラ・ノース『ラ・ボエーム』がある。新国立劇場初登場。



### 【演出】ステファノ・ヴィツィオーリ

Stefano VIZIOLI

イタリア出身。イタリアの著名劇場で定期的に演出しており、代表作にミラノ・スカラ座『ドン・パスクワレ』、シカゴ・リリック・オペラ『リゴレット』、シャンゼリゼ劇場『セビリアの理髪師』、ラヴェンナ音楽祭『ノルマ』などがある。ミラノ・スカラ座『ドン・パスクワレ』、パルマ・ヴェルディ音楽祭『リゴレット』、サン・カルロ歌劇場『モンテズマ』『ルイザ・ミラー』、カリアリ歌劇場『ドン・パスクワレ』、パルマ・ヴェルディ音楽祭『セビリアの理髪師』、バート＝ヴィルトバート・ロッシーニ音楽祭の『二人のフィガロ』はDVD化されている。現代作品、バロック作品、より広い観客へ向けた企画に意欲的で、ローマ歌劇場『蝶々夫人』、パルマ・ヴェルディ音楽祭『リゴレット』、サンタフェ・オペラ『シモン・ボッカネグラ』、ザンクト・ガレン歌劇場『サムソンとデリラ』、中国国家大劇院『リゴレット』、ブエノスアイレス・コロソ大劇場『第一回十字軍のロンバルディア人』などを手掛け、2013年にブータンでヘンデル『エイシスとガラテア』、16年に鎌倉、東京で上演された『ジャパン・オルフェオ』、19年にインスブルック古楽音楽祭で17世紀の作曲家チェスティの『ラ・ドーリ』を演出している。16年～20年にはピサ・ヴェルディ劇場の芸術監督を務めた。



### 【ドン・パスクワレ】ミケーレ・ペルトウージ（バス）

Michele PERTUSI

パルマ生まれ。世界の重要歌劇場で活躍し数々の賞に輝くバス歌手。近年はヴェルディ歌いとして活躍し、ウィーン国立歌劇場、テアトロ・レアル、ヴェルディ音楽祭、ミラノ・スカラ座『ドン・カルロ』フィリッポ二世、ミラノ・スカラ座、フェニーチェ歌劇場、ヴェルディ音楽祭、ワロン王立歌劇場で『アッティラ』タイトルロール、ヴェルディ音楽祭、ウィーン国立歌劇場で『リゴレット』スパラフチーレ、ウィーン国立歌劇場、トリノ王立歌劇場、パルマ王立歌劇場で『シモン・ボッカネグラ』フィエスコ、バイエルン州立歌劇場、ローマ歌劇場で『ルイザ・ミラー』ワルターなどに出演。ロッシーニの名手でもあり、ロッシーニ・オペラ・フェスティバルに出演を重ね、ロッシーニ・ドーロ賞も受賞。最近ではモデナ歌劇場『ドン・カルロ』、パルマ・ヴェルディ音楽祭『第一次十字軍のロンバルディア人』、ザルツブルク音楽祭『カプレーティ家とモンテッキ家』、ヴェローナ野外音楽祭『アイダ』『セビリアの理髪師』、ウィーン国立歌劇場『ドン・パスクワレ』、ミラノ・スカラ座『ルチア』、ナポリ・サンカルロ歌劇場『ドン・カルロ』、メトロポリタン歌劇場『メデア』、エクサンプロヴァンス音楽祭『ムーゼとファラオン』などに出演。本年12月にはスカラ座のシーズン開幕公演『ドン・カルロ』に出演予定。新国立劇場初登場。



### 【マラテスタ】上江隼人（バリトン）

KAMIE Hayato

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、卒業時に松田トシ賞、アカンサス賞などを受賞。同大学院修了後、イタリアに留学。2006年ディマロ国際声楽コンクール「Val di sole」第1位。第23回後藤記念文化賞オペラ新人賞受賞。ブッセートのパルマ・ヴェルディ・フェスティバルにて11年『イル・トロヴァトーレ』ルーナ伯爵、15年『リゴレット』タイトルロールを演じ称賛を浴びる。最近の主な出演に NISSAY OPERA『セビリアの理髪師』フィガロ、びわ湖ホール・神奈川県民ホール『椿姫』ジェルモン、東京二期会『道化師』トニオ、『ドン・カルロ』ロドリゴ、『リゴレット』タイトルロール、『イル・トロヴァトーレ』ルーナ伯爵、藤原歌劇団『椿姫』ジェルモン、『ランスへの旅』アルヴァーロ、『リゴレット』タイトルロール、『二人のフォスカリ』フランチェスコ・フォスカリ、札幌文化芸術劇場『アイダ』アモナズロなどがある。新国立劇場では『アンドレア・シェニエ』ルーシェ、『アイダ』アモナズロ、『チェネントラ』ダンディーニに出演。藤原歌劇団団員。



### 【エルネスト】フアン・フランシスコ・ガテル（テノール）

Juan Francisco GATELL

アルゼンチン出身。明るく魅力的、エレガントな声と劇的な表現で躍進中のリリック・テノール。2004年カルーソーコンクール、06年AsLiCoコンペティションなどのコンクールで優勝。ミラノ・スカラ座、フェニーチェ歌劇場、トリノ王立歌劇場、ローマ歌劇場、フィレンツェ歌劇場、ウィーン国

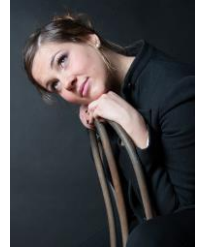
立歌劇場、リセウ大劇場、テアトロ・レアル、パリ・オペラ座、ロサンゼルス・オペラ、ザルツブルク音楽祭、ロシーニ・オペラ・フェスティバルなど世界中の歌劇場に『魔笛』タミーノ、『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ、『コジ・ファン・トゥッテ』フェルランド、『ドン・パスクワレ』エルネスト、『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵、『愛の妙薬』ネモリーノなどで出演。特に、大評判となったフェニーチェ歌劇場『羊飼いの王様』アレッサンドロ大王と『放蕩者のなりゆき』トム・レイクウェル、コロソポポリ歌劇場、ウィーン国立歌劇場ほかの『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵、スカラ座、ワシントン・オペラ、中国国家大劇院『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ、ロサンゼルス・オペラ、パルマ王立歌劇場、バレンシア歌劇場『ファルスタッフ』フェントンの成功は特筆される。新国立劇場へは 19 年『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオでデビューした。



## 【ノリーナ】ラヴィニア・ビーニ（ソプラノ）

Lavinia BINI

イタリアの新進気鋭のソプラノ。フィレンツェのケルビーニ音楽院を卒業。テバルディ国際コンクール優勝。ローマで『コジ・ファン・トゥッテ』デスピーナに出演してデビュー。その後ボローニャ歌劇場、フィレンツェ歌劇場、ラヴェンナ歌劇場、ヴェローナ・フィラルモニコ劇場、バーリ・ペトルツェツェリ劇場、トリノ王立歌劇場、ザルツブルク州立劇場などに『ジャンニ・スキッキ』ラウレッタ、『リナルド』セイレーン、『アルジェのイタリア女』エルヴィーラ、『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ／ドンナ・アンナなどで次々に出演。最近では、リエージュ・ワロン歌劇場、ジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ歌劇場『ラ・ボエーム』ムゼッタ、ワロン歌劇場『リゴレット』ジルダ、モデナ歌劇場、ヴェローナ・フィラルモニコ劇場『ジャンニ・スキッキ』ラウレッタ、カリアリ歌劇場『仮面舞踏会』オスカル、『ドン・パスクワレ』ノリーナ、トリノ王立歌劇場『愛の妙薬』アディーナ、ヴェローナ・フィラルモニコ劇場『人間の声』、ヴェローナ野外音楽祭『カルメン』ミカエラ、トリエステ・ヴェルディ歌劇場『ラ・ボエーム』ミミ、ボローニャ歌劇場『愛の妙薬』アディーナなどに出演している。新国立劇場初登場。



## 新国立劇場 2023/2024 シーズン オペラ

ガエターノ・ドニゼッティ **ドン・パスクワレ** 全3幕 〈イタリア語上演／日本語及び英語字幕〉  
Don Pasquale/Gaetano Donizetti

【公演日程】 2024年2月4日(日)14:00／8日(木)14:00／10日(土)14:00

【会場】 新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】 S:29,700円・A:24,200円・B:17,600円・C:11,000円・D:7,700円・Z:1,650円

【前売り開始】 2023年12月9日(土) 10:00～

※予定上演時間 約2時間25分(休憩含む)

指揮	レナート・バルサドンナ	ドン・パスクワレ	ミケーレ・ペルトウージ
Conductor	Renato BALSADONNA	Don Pasquale	Michele PERTUSI
演出	ステファノ・ヴィツィオーリ	マラテスタ	上江隼人
Production	Stefano VIZIOLI	Dottor Malatesta	KAMIE Hayato
美術	スザンナ・ロッシ・ヨスト	エルネスト	ファン・フランシスコ・ガテル
Set Design	Susanna ROSSI JOST	Ernesto	Juan Francisco GATELL
衣裳	ロベルタ・ガイディ・ディ・バーニョ	ノリーナ	ラヴィニア・ビーニ
Costume Design	Roberta GUIDI DI BAGNO	Norina	Lavinia BINI
照明	フランコ・マツリ	公証人	千葉裕一
Lighting Design	Franco MARRI	Un notaro	CHIBA Yuichi
再演演出	澤田康子		
Revival Director	SAWADA Yasuko		
舞台監督	村田健輔		
Stage Manager	MURATA Kensuke		

合唱指揮	富平恭平
Chorus Master	TOMIHIRA Kyohei
合唱	新国立劇場合唱団
Chorus	New National Theatre Chorus
管弦楽	東京交響楽団
Orchestra	Tokyo Symphony Orchestra

芸術監督	大野和士
Artistic Director	ONO Kazushi

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/donpasquale/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】 新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00～18:00)  
新国立劇場Webボックスオフィス <http://nntt.pia.jp/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

\* Z席 1,650円:公演当日朝10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

\* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引(20%)、高齢者割引、障害者割引、学生割引、当日学生割引(50%)など各種割引あり。\* 未就学児入場不可。

本公演はレパートリー作品です。過去の上演の舞台写真を宣材としてご提供致します。



【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



【9】

新国立劇場『ドン・パスクワレ』2019年公演より 撮影:寺司正彦